

事業番号	事務事業名	林業就業者支援事業	所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己
03761	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	林務係	担当者・シート作成者	平田 誠
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	新規林業就業者に対して、引越、家賃補助を行うとともに、雇用主に対して、該当者に支払われる給与、育成指導費の補助、新規就業者募集のための林業体験に関する費用の補助をおこなうもの。令和3年度新設。	鏡野町の林業従事者は、毎年減少しており、林業の担い手不足や担い手の育成は林業事業者にとって急務の課題となっている。この問題を解決するため、新規の担い手の確保や育成・定着に向け、鏡野町の林業就業者及び事業者を経済・技術支援することを目的とした林業就業者支援事業令和3年度より行っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 労働力人口(全国)	ア 労働力人口(全国)	千人	見込 実績	61,523 61,523	61,523 61,523	61,523 61,523	61,523	61,523
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町内林業従事者	ア 町内林業従事者数		目標 実績 達成率	37 37 100.0%	36 37 102.8%	37 39 105.4%	38	39 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 新規林業就業者の確保	ア 制度利用者	人	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ 林業体験の実施	イ 開催数	回	目標 実績 達成率			1 0 0.0%	1	1 0.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		01 款 06		02 項 02		02 目 02		01 09 大事業 中事業 予算上の事業名					事業番号			
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		林業就業者支援事業								
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源			2,301	10,041	10,041	2,301	一般財源			1,425	10,041	10,041	1,425				
合計			2,301	10,041	10,041	2,301	合計(A)			1,425	10,075	10,075	1,425				
財源名称							従事正職員人数			1	1	1	1				
							延べ業務事務時間			30	10	10	30				
							人件費計(千円)(B)			101	34	34	101				
	最終予算額		2,301 千円		予算執行率		61.9%		トータルコスト(A+B)								
主な支出事業内容(予算)	旅費				0 千円				主な支出事業内容(決算)	旅費				0 千円			
	需用費				301 千円					需用費				90 千円			
	役務費				0 千円					役務費				0 千円			
	補助金				2,000 千円					補助金				1,334 千円			

事業番号	03761	事務事業名	林業就業者支援事業	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
林業従事者数は最盛期に比べ1/3程度にまで減少している。(森林・林業白書)
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
林業事業体に対するヒアリングを行いつつ当事業を開始した他、他市町村と共同での林業就業ガイダンス等での周知に努めている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
他市町村に比べ支援が手厚く、事業体からは今後も継続を望む声が多い。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 新規就業者確保に直結するとともに、定住推進にも結び付いている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 公金でのみ実現し得る事業である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 就業者と事業者を直接支援するものであり妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 就業体験や説明会等を通じ更に制度周知をはかる必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 新規就業者や事業者の費用的負担が大きい。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 最低限の事務や出張のみで実施しており改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 補助金額、要する人件費ともに適正であり、公的関与が必要な事業である。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 林業事業者の自発的な林業体験の実施により職員負担の削減余地が見込まれる。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 広く就業希望者、業事業体を事業対象としており公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	今後も継続し、更なる事業成果向上に努める。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 就業者への周知を図るとともに、対象となる事業体の積極的利用を更に推進する。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									